

Hitachi Intelligent Infrastructure Monitoring(HIIM)

AIと機械学習を用いて、インフラ設備の状態・リスクを分析し、インフラ保守の高度化と安定稼働を実現

適用分野(業種・業務)

電力、ガス、製造業、鉄道

※機器や設備の管理・保守を行うお客さま

お客さまの課題

- 近年、設備や機器が老朽化しているケースが多く、安定稼働の実現に向け、細やかな保守が必要。一方で、労働人口の減少や熟練作業員の高齢化により、高度な保守技術の伝承が難しい
- 設備や機器の交換や修理の目途が立てにくく、意思決定が迅速にできず、現場派遣の優先度付け判断も難しい

解決策・お客さまメリット

- HIIMの活用により、スマートカメラ、3DLiDARセンサー、エッジゲートウェイを介して収集した映像データをCRM*¹やERP*²などのデータソースと統合することが可能です
- 作業員は、変電所などの機密性の高いエリアに関する粒度の細かい継続的な3D情報を取得し、相関関係や因果関係、ニアリアルタイムにインシデントを見つけることが可能です
- 設備の健康状態を把握でき、異常が起こってシステム停止する前に対処できるようになるため、設備や機器の交換や修理の目途も立てやすくなります

ユースケース

変電所のリモート監視における各種機能



*¹CRM : Customer Relationship Management (顧客関係管理)

*²ERP : Enterprise Resource Planning (企業資産計画)